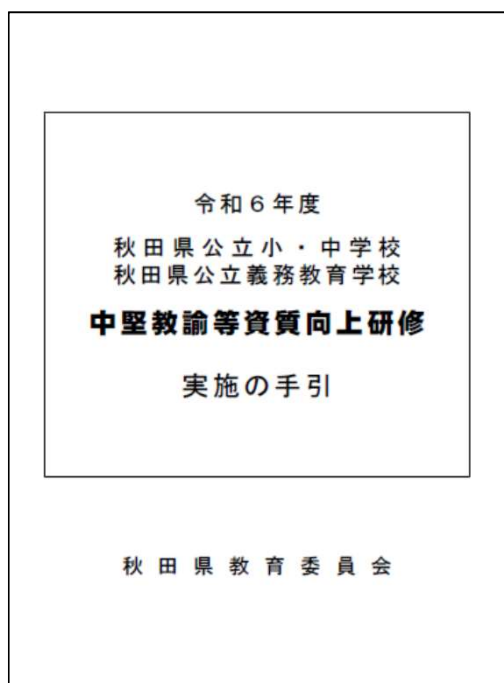


# 令和6年度中堅教諭等資質向上研修実施校への事前説明

## 2 中堅研校内研修等に係る提出書類について



秋田県教育庁南教育事務所

# 主な説明内容

## ○提出書類について

- ①提出書類の種類
- ②提出書類の提出期限等
- ③書類の提出方法等
- ④研修教員評価の留意点
- ⑤校内研修の開始と修了
- ⑥校内研修計画書の作成
- ⑦校内研修計画書の留意点
- ⑧校内研修報告書
- ⑨選択研修
- ⑩特定課題研究レポート

# ①提出書類の種類

## 提出書類

### ○計画に関わる書類

- 「研修教員評価案（事前）」
- 「校内研修計画書案」
- 「選択研修計画書案」

### ○報告に関わる書類

- 「研修教員評価（修了時）」
- 「校内研修報告書」
- 「選択研修報告書」
- 「特定課題研究レポート」

計画に関わる書類

報告に関わる書類

「研修教員評価書（事前）」  
p 8 ~ p 11

令和6年度秋田県公立小・中学校及び義務教育学校中堅教諭等資質向上研修  
研修教員評価

学校名	立	学校	研修教員氏名
研修教員氏名		研修者(校長)氏名	

1 基礎的素養、教育課題対応に関する研修の評価項目

評価項目	項目別評価目標	実	計	評
志意と教育意欲の醸成	研修の教育活動全体を振り返るふまに志意やキャリア教育を系統的・組織的に高められるよう実践目標を設定し、達成している。			
「新しい」学びの育成	内容に応じ、体系的な学習や問題解決的な学習を支援するとともに、児童生徒の志意との関わりを重視して、授業全体の効果を上げ得るための実践環境を整えながら、主体的な学びが行われるよう適切な支援をしている。			
若手教員の育成	教材指導や生徒指導、学級経営について、組織的な視点や自身の経験及び実践等を踏まえて適切な指導や支援をしている。			

「校内研修計画書」  
p 19・20

令和6年度中堅教諭等資質向上研修  
校内研修計画書

学校名	〇〇立△△中学校	校長名	〇〇〇〇〇
研修教員名	〇〇〇〇〇	教科・科目	☆☆☆・★★ 学年・年組 ○年〇組

＜校内研修計画＞

1 研修目的及び方針  
研修教員に対して、評価結果に基づき、………することを目的とする。  
そのために、次のような方針を定める。

- 略（中研修教員の個性や得意分野の強みから具体的に設定）
- 略（添削指導や8～p11の到達目標に照らし、研修教員に特に求められる資質能力向上の観点から具体的に設定）
- 略

2 研修推進組織（省略）

「選択研修計画書」  
p 21

令和6年度中堅教諭等資質向上研修  
選択研修計画書

研修教員名	所属校	連絡先	TEL:
校長名	校長名		FAX:

【社会体験研修等について】

学びたいこと

研修先	所在地	〒
依頼状(札状)送付先 (TEL/FAX)	代表者 職・氏名	
<input type="checkbox"/> メール	住所又はメールアドレス	※研修先メールアドレスが不明の場合は研修先に確認し、必ず住所を記入すること。

「研修教員評価書（修了時）」  
p 8 ~ p 11

令和6年度秋田県公立小・中学校及び義務教育学校中堅教諭等資質向上研修  
研修教員評価

学校名	立	学校	研修教員氏名
研修教員氏名		研修者(校長)氏名	

1 基礎的素養、教育課題対応に関する研修の評価項目

評価項目	項目別評価目標	実	計	評
志意と教育意欲の醸成	研修の教育活動全体を振り返るふまに志意やキャリア教育を系統的・組織的に高められるよう実践目標を設定し、達成している。			
「新しい」学びの育成	内容に応じ、体系的な学習や問題解決的な学習を支援するとともに、児童生徒の志意との関わりを重視して、授業全体の効果を上げ得るための実践環境を整えながら、主体的な学びが行われるよう適切な支援をしている。			
若手教員の育成	教材指導や生徒指導、学級経営について、組織的な視点や自身の経験及び実践等を踏まえて適切な指導や支援をしている。			

「校内研修報告書」  
p 20

令和6年度中堅教諭等資質向上研修  
校内研修計画書

修了時には「校内研修報告書」に書き換えて提出する。(様式例) ※様式はA4判縦

学校名	〇〇立△△中学校	校長名	〇〇〇〇〇
研修教員名	〇〇〇〇〇	教科・科目	☆☆☆・★★ 学年・年組 ○年〇組

＜校内年間研修計画＞

実施月日(曜日)	研修内容	会場	研修方法・形態	研修時間(分)	研修指導者
6/5(水)	特定課題研究の進め方	特 講	講師 1   一般研修 1	2	2
6/12(水)	教材研究と指導者の関係(1)	教 壇	授業指導 1	1	3
7/4(木)	授業観察と助長(1)	教 壇	授業指導 1	1	3
8/7(水)	………	………	………	………	………
9/2(月)	教材研究と指導者の関係(2)	教 壇	1   授業研究 1	2	2

「選択研修報告書」 p 22

令和6年度中堅教諭等資質向上研修  
選択研修報告書

所属校	職・氏名
研修先	
研修期間	令和 年 月 日( ) ~ 令和 年 月 日( )

1 研修の概要

「特定課題研究レポート」 p 23

令和6年度中堅教諭等資質向上研修  
特定課題研究レポート

所属校	職・氏名
研究内容	A 本県の教育課題に関する研究 B マネジメントに関する研究 C 生徒指導に関する研究 D 教材指導に関する研究 E 道徳教育に関する研究 F 特別活動に関する研究 G 総合的な学習の時間に関する研究 H 特別支援教育に関する研究 I その他 (選択したものに○をつけること)
研究テーマ	

1 研究の概要

## ②提出書類の提出期限等 (実施の手引 p 7)

### ○計画に関わる書類 ▶ 6月上旬提出

- 「研修教員評価（案）（事前）」
- 「校内研修計画書（案）」
- 「選択研修計画書（案）」

### ○報告に関わる書類 ▶ 2月上旬提出

- 「研修教員評価（案）（修了時）」
- 「校内研修報告書」
- 「選択研修報告書」
- 「特定課題研究レポート」

各学校から  
市町村教育委員  
会への提出  
期限等は、後  
日、市町村教  
育委員会から  
連絡

## ③書類の提出方法等 (実施の手引 p7)

- ①「研修教員評価案（事前）」「研修教員評価（修了時）」は、紙媒体による「親展」として次のとおり提出

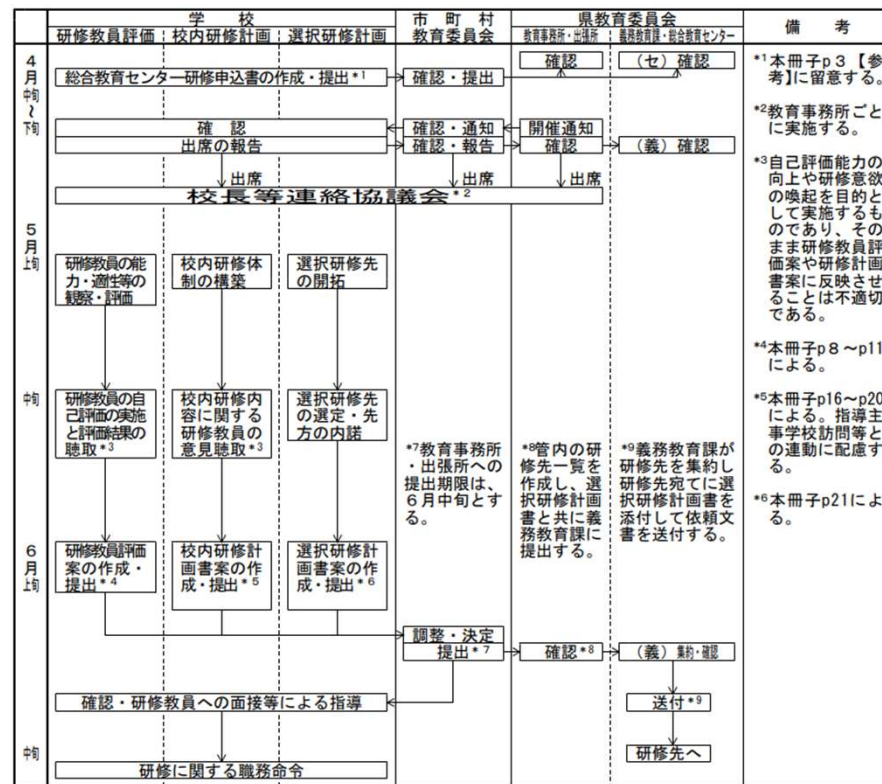
学校（3部提出）

↓  
市町村教育委員会（教育長宛て）

- ②「校内研修計画書案・選択研修計画書案」及び「校内研修報告書・選択研修報告書」「特定課題研究レポート及び資料」は、電子データにより次のとおり提出

学校

↓  
市町村教育委員会（教育長宛て）



<計画書等の提出に係る注意事項（上表「\*4」「\*5」「\*6」「\*7」に関連）>

- 「研修教員評価」は、紙媒体による「親展」として以下のとおり提出する。
  - 学校（3部提出）→市町村教育委員会（教育長宛て）
  - 市町村教育委員会（1部保管・2部提出）→教育事務所・出張所（所長宛て）
- 「校内研修計画」及び「選択研修計画」は、電子データにより以下のとおり提出する。
  - 学校→市町村教育委員会（教育長宛て）
  - 市町村教育委員会→教育事務所・出張所（所長宛て）

# ④研修教員評価の留意点 (実施の手引 p1~2、p8~11)

## Ⅲ 到達目標及び研修教員評価

※ 研修教員の評価は、次の様式により行う。

令和6年度秋田県公立小・中学校及び義務教育学校中堅教諭等資質向上研修  
**研修教員評価**

学校名	立	学校	研修教員氏名
			評価者(校長)氏名

### 1 基礎的素養、教育課題対応に関する研修の評価項目

到達目標	本県における教育課題を十分に理解し、具体的に対応する十分な能力を身に付けており、また、他の教員に対して適切な助言や支援をすることができる。
------	---

評価項目	項目別到達目標	評価	
		事前	修了時
ふるさと教育 やキャリア教育の推進	自校の教育活動全体を見据え、ふるさと教育やキャリア教育を系統的・組織的に進められるよう実施計画を企画し、運営している。		
	校種間連携や地域との連携を図り、実感的で、体験的、総合的なふるさと教育やキャリア教育を推進している。		
“「問い」を 発する子ども”の育成	内容に応じ、体験的な学習や問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう工夫している。		
	他者との関わりを通して、児童生徒の思考を広げ深めるため、言語環境を整えるなど、言語活動が適正に行われるようきめ細かな支援をしている。		
若手教員の育成	教科指導や生徒指導、学級経営について、組織的な視点や自身の経験及び実践等を踏まえて適切な指導や助言をしている。		

6月	2月
----	----

## 留意事項

「項目別到達目標」に基づき、校長先生が評価案を作成すること

研修教員本人の自己評価や意見等をそのまま反映させることは適切ではないこと

# ⑤校内研修の開始と修了 (実施の手引 p17、20)

(例)

修了時には「校内研修報告書」に書き換えて提出する。

(様式例) ※様式はA4判縦

## 校内研修計画書

学校名	〇〇〇立△△△中学校			校長名	□□□□□
研修教員名	◇◇◇◇◇	教科・科目 (中・高)	☆☆☆・★★	学年・組	〇年〇組

(小学校教諭は右上がり斜線を記入)

### <校内年間研修計画>

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態		時間割内・ 放課後の区別		研修 時間	研修指導者		
					内	放				
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	一般研修	1	2	0	2	校長
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
8 / 8 (木)	不登校や集団不適応の悩みを抱えた児童生徒の支援	生	一般研修	3			0	3	3	専門研修で代替
1 / 16 (木)	授業実践に基づく授業研究(4)	教	授業研究	2			2	0	2	校長・教科主任
1 / 31 (金)	教材研究と指導案の作成の指導(2)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
2 / 3 (月)	授業参観と助言(2)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
2 / 10 (月)	特定課題研究の発表	特	一般研修	1	講話	1	2	0	2	生徒指導主事

<開始>

市町村教育委員会に研修計画書案を提出し、承認を得た後の月日

<修了>

市町村教育委員会に研修報告書を提出する前の月日

# ⑥校内研修計画書の作成 (実施の手引 p12、16、17)

## 研修領域 (6領域)

- ・ 基礎的素養、教育課題対応 → 「基」
- ・ マネジメント能力 → 「マ」
- ・ 生徒指導力 → 「生」
- ・ 教科等指導力 → 「教」
- ・ 選択研修 → 「選」
- ・ 特定課題研究 → 「特」

## 研修方法・形態 (4形態)

- ・ 講話
- ・ 授業指導
- ・ 授業研究
- ・ 一般研修

### 校内研修計画書

学校名	〇〇〇立△△△中学校			校長名	□□□□□
研修教員名	◇◇◇◇◇	教科・科目 (中・高)	☆☆☆・★★	学年・組	〇年〇組

(小学校教諭は右上がり斜線を記入)

#### 〈校内年間研修計画〉

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態		時間割内・ 放課後の区別		研修 時間	研修指導者		
					内	放				
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	一般研修	1	2	2	校長	
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
8 / 8 (木)	不登校や集団不適応の悩みを抱えた児童生徒の支援	生	一般研修	3				3	3	専門研修で代替



## ⑥校内研修計画書の作成（実施の手引 p12、16、20）

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態			時間割内・ 放課後の区別		研修 時間	研修指導者	
						内	放			
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	一般研修	1	2	0	2	校長
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
8 / 8 (木)	不登校や集団不適応の悩みを抱えた児童生徒の支援	生	一般研修	3			0	3	3	専門研修で代替
1 / 6 (月)	「伝える力」スキルアップ	基	一般研修	2			0	2	2	eラーニングで代替

総合教育センターの専門研修の受講やeラーニング研修受講等で代替した場合は、「一般研修」とします。

## ⑥校内研修計画書の作成 (実施の手引 p16、17、20)

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態				時間割内・ 放課後の区別		研修 時間	研修指導者
							内	放		
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	一般研修	1	2	0	2	校長
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3			1	2	3	教頭(若)
8 / 8 (木)	不登校や集団不応の悩みを抱えた児童生徒の支援	生	一般研修	3			0	3	3	専門研修で代替
9 / 2 (月)	教材研究と指導案の作成(1)	教	講話	1	授業研究	1	2	0	2	校長

長期休業中に研修を行う場合は放課後の研修としてカウントし、「放」に時間を記入する。

## ⑦校内研修計画書の作成の留意点 (実施の手引 p16、17、20)

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態				時間割内・ 放課後の区別		研修 時間	研修指導者
							内	放		
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	一般研修	1	2	0	2	校長
6 / 12 (水)	教						1	2	3	教頭(若)
7 / 4 (木)	授						1	2	3	教頭(若)
8 / 8 (木)	不登校						0	3	3	専門研修で代替
9 / 2 (月)	教材研究と指導案の作成(1)		講話	1	授業研究	1	2	0	2	校長

授業研究＋授業指導を合わせ、全体の5割を超える

研修教員名	実施日数 合計	研修方法・形態別の研修日数(時間数)				時間割内研 修時間計 (e)	放課後研 修時間計 (f)	研修時間合計 (a+b+c+d=e+f)
		(a)講話	(b)授業研究	(c)授業指導	(d)一般研修			
◇◇◇◇◇	22	8 (9)	12 (22)	4 (12)	6 (9)	30	22	52

(注) 『研修方法・形態』の定義については、本冊子 p16 [1の(1)、②のイ] を参照。

※「授業研究」と「授業指導」の日数及び時間数ができるだけ全体の5割を超えるようにする。ただし、研修教員の校務分掌(例：教務主任、生徒指導主事)との関連で校長が認める場合はその限りではありません。

# ⑧校内研修報告書 (実施の手引 p18、20)

## 校内研修計画書



## 校内研修報告書

学校名	〇〇〇立△△△中学校		校長名	□□□□□
研修教員名	◇◇◇◇◇	教科・科目 (中・高)	☆☆☆・★★	学年・組 〇年〇組

(小学校教諭は右上がり斜線を記入)

<校内年間研修計画>

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態	研修期間内・ 放課後の区別		研修時間	研修指導者
				内	放		
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	2	2	校長
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
8 / 8 (木)	学習者や発達障害児の悩みを教えた授業実践の支援	生	一般研修	3	3	3	専門研修で代替
9 / 2 (月)	教材研究と指導案の作成(1)	教	講話	1	2	2	校長
9 / 4 (水)	授業実践に基づく授業研究(1)	教	授業研究	2	2	2	校長
9 / 5 (木)	学級経営案に基づく学級経営の改善	マ	講話	1	2	2	教頭
9 / 6 (金)	教材研究と指導案の作成(2)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
9 / 13 (金)	授業実践に基づく授業研究(2)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
9 / 17 (火)	教材研究と指導案の作成(3)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
10 / 4 (金)	選択研修のまとめ	選	講話	1	2	2	校長
10 / 7 (月)	授業実践に基づく授業研究(3)	教	授業研究	2	1	1	2 (指導主事)・教頭
10 / 11 (金)	道徳科の指導案の作成	教	講話	1	2	3	道徳教育推進教師
10 / 18 (金)	道徳科の授業実践に基づく授業研究	教	授業研究	2	2	2	道徳教育推進教師・教頭
11 / 8 (金)	学級活動の時間の指導案の作成	教	講話	2	1	2	3 研究主任・特別活動主任
11 / 14 (木)	学級活動の授業実践に基づく授業研究	教	授業研究	3	1	2	3 教頭・特別活動主任
1 / 6 (月)	「伝える力」スキルアップ	基	一般研修	2	2	2	eラーニングで代替
1 / 9 (木)	教材研究と指導案の作成(4)	教	講話	1	2	2	研究主任・教科主任
1 / 16 (木)	授業実践に基づく授業研究(4)	教	授業研究	2	2	2	校長・教科主任
1 / 31 (金)	教材研究と指導案の作成の指導(2)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
2 / 3 (月)	授業参観と助言(2)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
2 / 10 (月)	特定課題研究の発表	特	一般研修	1	2	2	生徒指導主事

学校名	〇〇〇立△△△中学校		校長名	□□□□□
研修教員名	◇◇◇◇◇	教科・科目 (中・高)	☆☆☆・★★	学年・組 〇年〇組

(小学校教諭は右上がり斜線を記入)

<校内年間研修計画>

実施月日 (曜日)	研修内容	領域	研修方法・形態	研修期間内・ 放課後の区別		研修時間	研修指導者
				内	放		
6 / 5 (水)	特定課題研究の進め方	特	講話	1	2	2	校長
6 / 12 (水)	教材研究と指導案の作成の指導(1)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
7 / 4 (木)	授業参観と助言(1)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
8 / 8 (木)	学習者や発達障害児の悩みを教えた授業実践の支援	生	一般研修	3	3	3	専門研修で代替
9 / 2 (月)	教材研究と指導案の作成(1)	教	講話	1	2	2	校長
9 / 4 (水)	授業実践に基づく授業研究(1)	教	授業研究	2	2	2	校長
9 / 5 (木)	学級経営案に基づく学級経営の改善	マ	講話	1	2	2	教頭
9 / 6 (金)	教材研究と指導案の作成(2)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
9 / 13 (金)	授業実践に基づく授業研究(2)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
9 / 17 (火)	教材研究と指導案の作成(3)	教	授業研究	2	2	2	教務主任
10 / 4 (金)	選択研修のまとめ	選	講話	1	2	2	校長
10 / 7 (月)	授業実践に基づく授業研究(3)	教	授業研究	2	1	1	2 (指導主事)・教頭
10 / 11 (金)	道徳科の指導案の作成	教	講話	1	2	3	道徳教育推進教師
10 / 18 (金)	道徳科の授業実践に基づく授業研究	教	授業研究	2	2	2	道徳教育推進教師・教頭
11 / 8 (金)	学級活動の時間の指導案の作成	教	講話	2	1	2	3 研究主任・特別活動主任
11 / 14 (木)	学級活動の授業実践に基づく授業研究	教	授業研究	3	1	2	3 教頭・特別活動主任
1 / 6 (月)	「伝える力」スキルアップ	基	一般研修	2	2	2	eラーニングで代替
1 / 9 (木)	教材研究と指導案の作成(4)	教	講話	1	2	2	研究主任・教科主任
1 / 16 (木)	授業実践に基づく授業研究(4)	教	授業研究	2	2	2	校長・教科主任
1 / 31 (金)	教材研究と指導案の作成の指導(2)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)
2 / 3 (月)	授業参観と助言(2)	教	授業指導	3	1	2	3 教頭(若)

# ⑨ 選択研修 (実施の手引 p13、18、21、22)

## 選択研修計画書

令和6年度中堅教諭等資質向上研修 (様式例) ※様式はA4判縦

### 選択研修計画書

研修教員名	所属校	連絡先	TEL:
	校長名		FAX:

#### 【社会体験研修先等について】

学びたいこと			
研修先	所在地	〒	FAX:
依頼状(礼状)送付先 (必ず印) <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> メール	代表者 職・氏名 住所又はメールアドレス ※郵送とメールのどちらがよいか研修先に確認し、希望する方のみ記入すること。		
研修担当者名	部・課名		
研修の期日・内容			
月日(曜日)	研修時間	主な研修内容	
<第1日> 月 日 ( )	: ~ : : ~ : : ~ :	休憩 (休憩時間を明示すること)	
<第2日> 月 日 ( )	: ~ : : ~ : : ~ :		
<第3日> 月 日 ( )	: ~ : : ~ : : ~ :		

※「学びたいこと」には、教員としての視野を広げるために研修先で取り組んでみたい内容やその内容から学びたいことなどについて、できるだけ具体的に書くこと。  
 ※「研修先」「所在地」「依頼状(礼状)送付先」「研修担当者名」「部・課名」については、依頼状(礼状)送付等の際に失礼のないよう、誤字・脱字に注意し、正確に記入すること。  
 ※研修時間は、休憩時間を含めて8時間程度とすること。  
 ※2日間の場合は、<第3日>は右上がり斜線を記入すること。

#### 【秋田大学教育文化学部附属学校園公開研究協議会での研修等について】 有 ・ 無

学びたいこと
--------

※参加の有無について、どちらかに○を付けること。  
 ※「学びたいこと」には、自身の専門性を高める観点からできるだけ具体的に書くこと。参加しない場合は、記載する必要はない。

## 選択研修報告書

### 選択研修報告書

所属校	職・氏名
研修先	
研修期間	令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )
1 研修の概要	
2 研修の成果 (今後への生かし方も含むこと)	

社会体験研修と秋田大学教育文化学部附属学校園公開研究協議会での研修との両方を行った場合、報告書をひとつにまとめて作成する。

## ⑨ 選択研修 (実施の手引 p13、16、18)

### 研修領域についての留意点

- ・ 社会体験研修先での研修は、「校外研修」となる。
- ・ 社会体験先の決定や研修計画の策定、研修のまとめ等は、「校内研修」となる。

9 / 17 (火)	教材研究と指導案の作成(3)	教	授業研究	2			2	0	2	教務主任
10 / 4 (金)	選択研修のまとめ	選	講話	1	一般研修	1	2	0	2	校長
10 / 7 (月)	授業実践に基づく授業研究(3)	教	授業研究	2			1	1	2	(指導主事)・教頭

### 研修先や研修実施日など計画に変更がある場合

計画書の作り直し ▶ 市町村教育委員会に提出

# ⑩特定課題研究レポート (実施の手引 p12、23)

令和6年度中堅教諭等資質向上研修

## 特定課題研究レポート

所属校	職・氏名
研究内容	A : 本県の教育課題に関する研究 B : マネジメントに関する研究 C : 生徒指導に関する研究 D : 教科指導に関する研究 E : 道徳教育に関する研究 F : 特別活動に関する研究 G : 総合的な学習の時間に関する研究 H : 特別支援教育に関する研究 I : その他 (選択したものに○を付けること)
研究テーマ	
1 研究の概要	<p>校長等の指導の下、研修教員が自ら定めたテーマ（指導方法や教材等に関する課題）について、1年間の独自の研究を行い、年度末に発表し、校長等の指導助言を受ける。</p>

本研修について御不明な点がある場合は…

